

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	演劇史2	
科目基礎情報					
開設学科	演劇スタッフ科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時限数	15時限
単位数	1単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回資料を配布する。副読として『ハムレット』（角川文庫）『ロミオとジュリエット』（筑摩書房）を使用				
担当教員情報					
担当教員	宮下 明日香		実務経験の有無・職種	有・演劇制作	
学習目的					
現在数多くの舞台が各国で上演されている。言語も異なれば、時代も場所も多様な設定がなされている。その舞台を創作する演劇界で働くためには、アカデミックとプラクティカルな両面を求められる。演劇がどのように成立し、現代にまで導かれているかを考察し、演劇の歴史の流れを認識する。学術的に演劇を理解することにより、実践へと結びつけることができる。					
到達目標					
東西問わず古典劇は現在も多く上演されている。前期は紀元前5世紀の古代ギリシャ時代から17世紀初頭までの西洋演劇史を理解する。時代背景や劇場構造の変化など作品を通して考察する。後期は神話の時代から、江戸・明治時代までの日本の演劇史を身につける。特に歌舞伎から新劇への移り変わりを学ぶことにより、現代の日本演劇の根底を理解することができる。					
教育方法等					
授業概要	各時代の東と西の演劇を学ぶ中で、授業で扱う作品のDVD鑑賞を取り入れていく。学術的に学びながら、実践的にどのように古典劇が現代で上演されているかを感じながら言及していく。				
注意点	この授業は、各作品を読みながら授業を展開していくため、授業で扱う作品を事前に読んでおくことが望ましい。私語、居眠りを禁止とする。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験	50%	基本的な授業を理解しているかによって評価する。		
	課題	25%	定期的に提出するレポートの内容によって評価する。		
	授業態度	25%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	日本芸能の始まり（1）		古事記		
2回	日本芸能の始まり（2）		神楽		
3回	宮廷芸能から庶民芸能		田楽、猿楽、能への変化と作品		
4回	能楽		狂言の成り立ち		
5回	歌舞伎の成立（1）		歌舞伎の始まりと成立		
6回	歌舞伎の成立（2）		歌舞伎作者と東西の歌舞伎俳優		
7回	歌舞伎作品（1）		『妹背山婦女庭訓』の分析		
8回	歌舞伎作品（2）		『義経千本桜』の分析		
9回	歌舞伎作品（3）		『仮名手本忠臣蔵』分析		
10回	歌舞伎改良運動		時代の変化の流れと歌舞伎の立ち位置		
11回	新劇（1）		新劇の成立		
12回	新劇（2）		築地小劇場の動き		
13回	新劇（3）		新劇の分裂		
14回	新劇（4）		戦後の新劇		
15回	まとめ		総括と学習到達度の確認		